2020年度 桐蔭高校 授業シラバス

学年	教科	科目名	単位数	使用教科書·副教材
2	家庭	家庭基礎	2	新家庭基礎(実教)·生活学Navi資料+成分表(実教)

学期	月	大単元	小単元(内容)	発展的内容
	4	第1編 人とかかわって生きる	1 自分を見つめる	
		第1章 自分らしい生き方と家族	2パートナーと出会う	
			3家族って何だろう	
			4家族と法律	
			5 生活を支える仕事と生活時間	
1 学	5	第2章 子どもとかかわる	1 子どもを知る	
期			2 発達のすばらしさ	
			3 子どもの生活	
			4親になることを考えよう	
	6	第2編 生活をつくる		
	7	第3章 衣生活をつくる	基礎縫いを取り入れたエプロン製作	
	8	ホームプロジェクト		
_		製作エプロンの合評会		
2 学	9	第2編 生活をつくる	1 私たちの食生活を見つめる	
期		第1章 食生活をつくる	2 栄養と食品のかかわり	
			調理実習	
学期	月	大単元	小単元(内容)	発展的内容
3 743		第1章 食生活をつくる	3 食品の選び方と安全	76/20 51 514
			4 食事の計画と調理	
			5これからの食生活を考える	
			調理実習	
2	11	第1章 食生活をつくる		
学 期				
			調理実習	

	12	第3編 消費者として自立する	1 主体的な消費行動
		第1章 消費行動を考える	2 消費者の権利と責任
			3 資源・環境を考える
	1	第2章 経済的に自立する	1経済のしくみを知る
			2計画的にお金を使う
	2	第2編 生活をつくる	1 人と住まいのかかわり
		第3章 住生活をつくる	2 快適な住まいづくり
3			3健康的で安全な住まいの環境
学			4 よりよい住生活を創造する
期	3	第1編 人とかかわる	1 高齢社会に生きる私たちの暮らし
		第3章 高齢者とかかわる	2 歳を重ねるということ
			3 豊かな高齢期を迎えるしくみ
		第4章 社会とかかわる	1 支えあう暮らしとは
			2 地域で暮らす、みんなで暮らす
	・家庭生活や地域の生活に思いを持た。その玄宝・点上のために音効的に取り組むとともに、宝践的な能度を良につけているか		

評価基準

方法

- ・家庭生活や地域の生活に関心を持ち、その充実・向上のために意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけているか。
- ・家庭や地域の生活について思考を深め、課題を見つけて適切に判断し、解決のために工夫し、創造する能力を身につけているか。
- ・家庭や地域の生活を充実・向上させるための基礎的、基本的な技術を身につけ、それを的確に表現することができるか。
- ・家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実・向上させるための基礎的、基本的な知識を身につけているか。

定期考査、実習の実技・作品、授業・実験・実習への参加の仕方や態度、各種提出物等、総合的に評価する。